

琵琶湖を育む森林づくり・「やまの健康」についてのアンケート

県では、「琵琶湖森林づくり基本計画」に基づき、平成 18 年4月に導入した「琵琶湖森林づくり県民税」を活用しながら、琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりを基本方向とする施策に取り組んでいるところです。

また、令和元年度から、森林・林業・農山村(=「やま」と称しています。)を一体的に捉え、農山村の価値や魅力に焦点を当て、地域資源を活かして農山村の活性化を図る「やまの健康」推進プロジェクトを実施しています。

今回、こうした施策の成果や今後の事業のあり方について、皆さまからの声をお聴かせいただき施策に関する基礎資料を作成することを目的として、アンケート調査を実施しました。

★ 調査時期:令和 5 年 10 月

★ 対象者:県政モニター296人

★ 回答数:262人(88.5%)

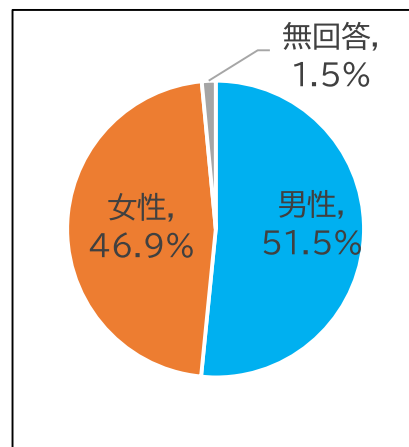
★ 担当課:琵琶湖環境部 森林政策課

(※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。)

【属性】

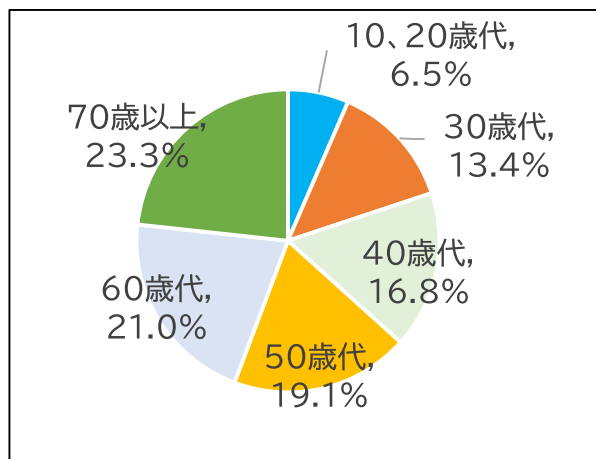
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	135	51.5%
女性	123	46.9%
無回答	4	1.5%
合計	262	99.9%



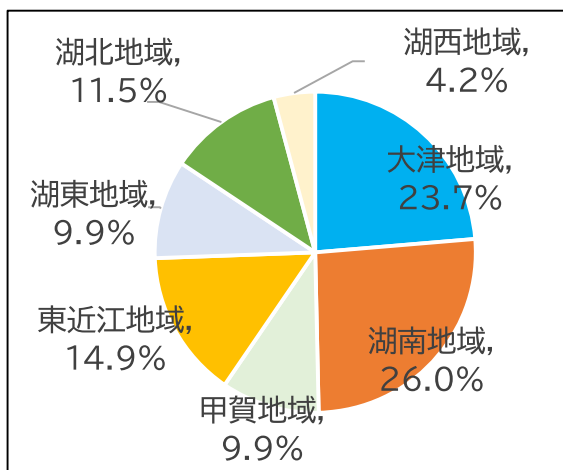
★年代

項目	人数(人)	割合(%)
10、20 歳代	17	6.5%
30 歳代	35	13.4%
40 歳代	44	16.8%
50 歳代	50	19.1%
60 歳代	55	21.0%
70 歳以上	61	23.3%
合計	262	100.1%



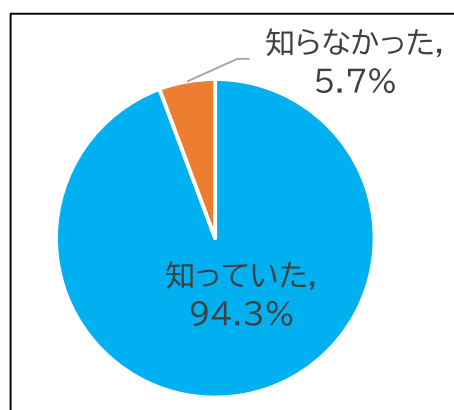
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	62	23.7%
湖南地域	68	26.0%
甲賀地域	26	9.9%
東近江地域	39	14.9%
湖東地域	26	9.9%
湖北地域	30	11.5%
湖西地域	11	4.2%
合計	262	100.1%



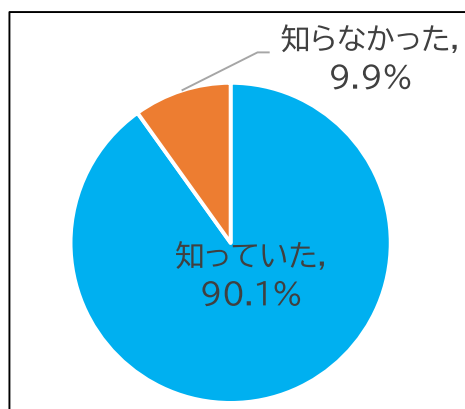
問1 森林は、環境の保全や土砂災害の防止、水を蓄えたり地球温暖化を防止したりするなど、様々な働きにより私たちの暮らしを支えています。あなたはこのことを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
知っていた	247	94.3%
知らなかった	15	5.7%
合計	262	100.0%



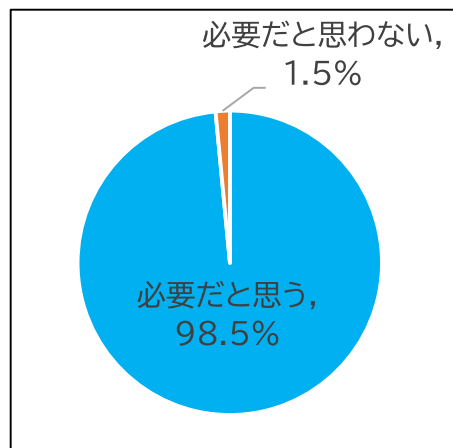
問2 近年、森林の手入れ不足等が原因で、森林のもつ様々な働きが低下することが心配されています。あなたはこのことを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
知っていた	236	90.1%
知らなかった	26	9.9%
合計	262	100.0%



問3 あなたは、森林を健全な姿で未来へ引き継ぐことが必要だと思いますか。(回答チェックは1つだけ n =262)

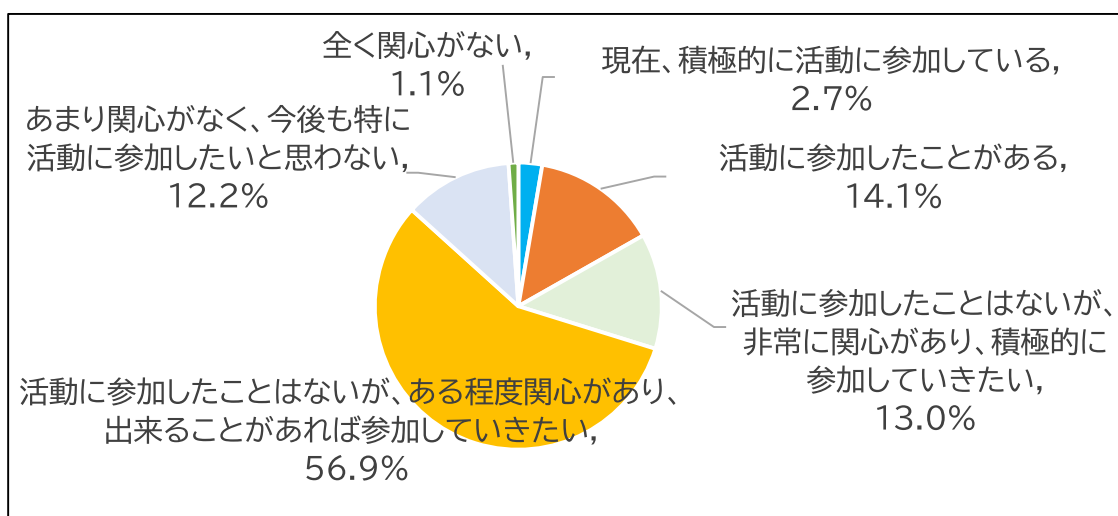
項目	人数(人)	割合(%)
必要だと思う	258	98.5%
必要だと思わない	4	1.5%
合計	262	100.0%



問4 あなたは、森林づくり活動(※)にどのくらい参加していますか、または関心を持っていますか。(回答チェックは1つだけ n=262)

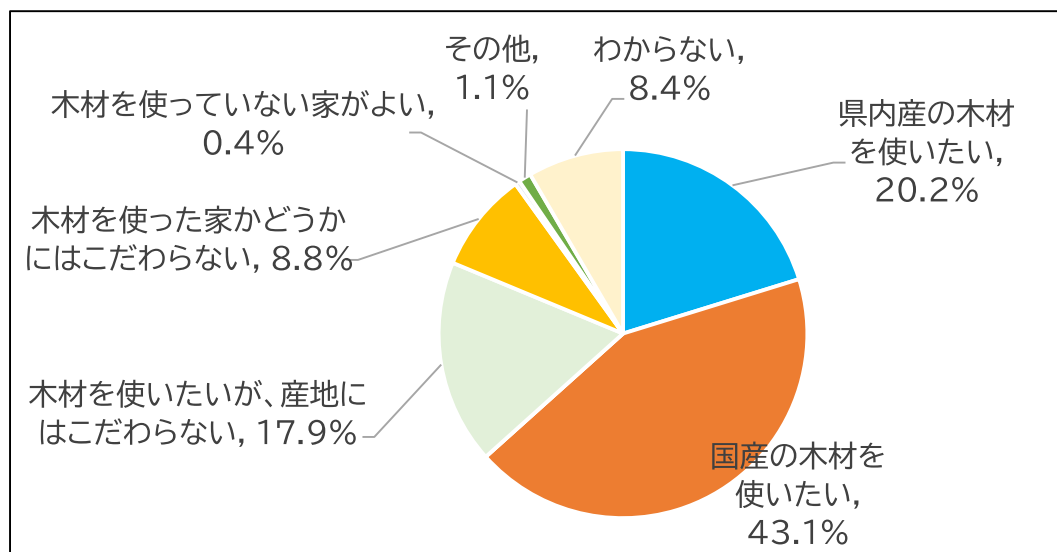
※森林づくり活動とは、木を植える活動、混み合った木を伐る活動(間伐)、里山の保全活動、竹林の保全活動など

項目	人数(人)	割合(%)
現在、積極的に活動に参加している	7	2.7%
活動に参加したことがある	37	14.1%
活動に参加したことはないが、非常に関心があり、積極的に参加していきたい	34	13.0%
活動に参加したことはないが、ある程度関心があり、出来ることがあれば参加していきたい	149	56.9%
あまり関心がなく、今後も特に活動に参加したいと思わない	32	12.2%
全く関心がない	3	1.1%
合計	262	100.0%



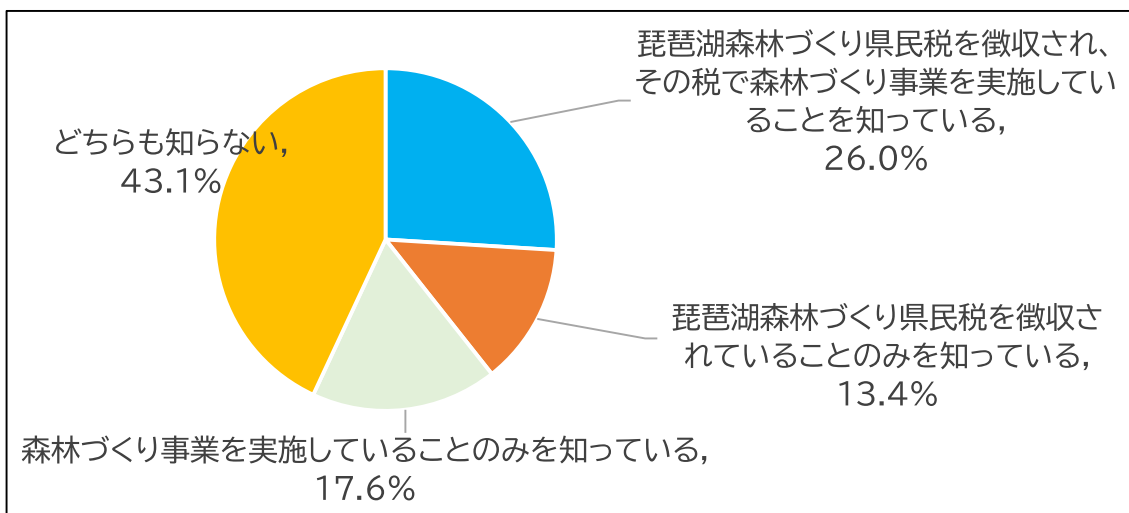
問5 もし家やマンションなどを建てたり購入するときに、構造や内装などに木材を使うことについて、あなたの考え方に最も近いものは次のうちどれですか。すでに家を建てた方または購入された方は、構造に一番近いものを選択してください。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
県内産の木材を使いたい	53	20.2%
国産の木材を使いたい(県内産かどうかにはこだわらない)	113	43.1%
外国産の木材を使いたい	0	0.0%
木材を使いたいが、産地にはこだわらない	47	17.9%
木材を使った家かどうかにはこだわらない	23	8.8%
木材を使っていない家がい	1	0.4%
その他	3	1.1%
わからない	22	8.4%
合計	262	99.9%



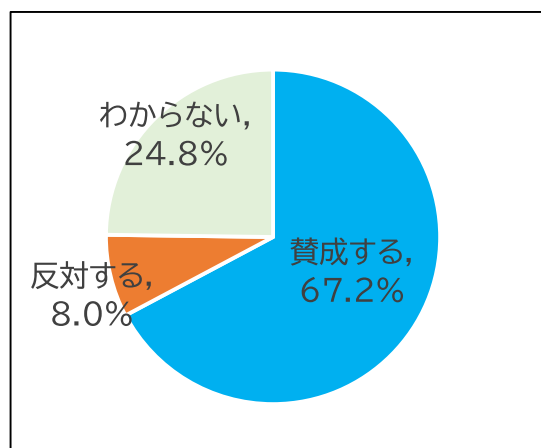
問6 滋賀県では、平成18年度から住民税に上乗せする形で県民の皆さまから「琵琶湖森林づくり県民税」をいただき、「環境重視」と「県民協働」の視点に立った森林づくりに取り組んでいます。あなたはこのことを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
琵琶湖森林づくり県民税を徴収され、その税で森林づくり事業を実施していることを知っている	68	26.0%
琵琶湖森林づくり県民税を徴収されていることのみを知っている	35	13.4%
森林づくり事業を実施していることのみを知っている	46	17.6%
どちらも知らない	113	43.1%
合計	262	100.1%



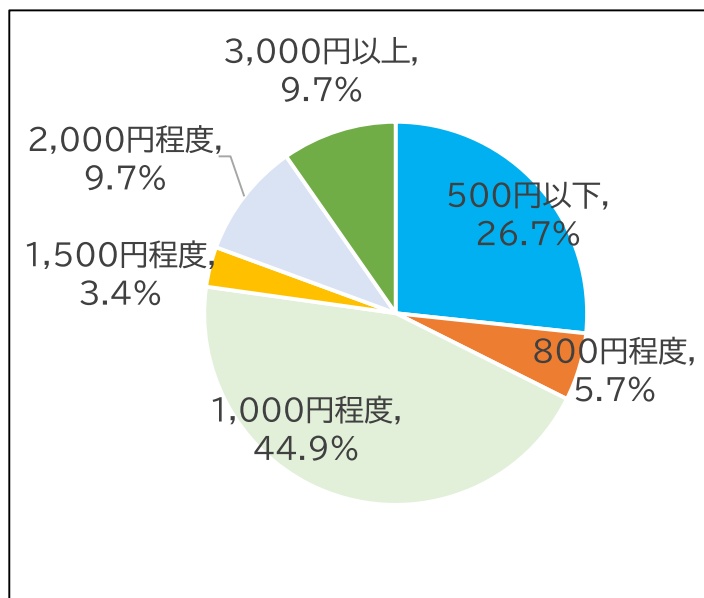
問7 滋賀県の森林には 6,716 億円の価値があるとされており、県民一人あたり毎年約 50 万円分の恵みを森林から受けています。「琵琶湖森林づくり県民税」による様々な取組を継続して行っていくことについて、どのように思いますか。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
賛成する	176	67.2%
反対する	21	8.0%
わからない	65	24.8%
合計	262	100.0%



付問1 【問7】で「1 賛成する」と回答された方におたずねします。1年間に何円程度であれば負担してもよいと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=176)

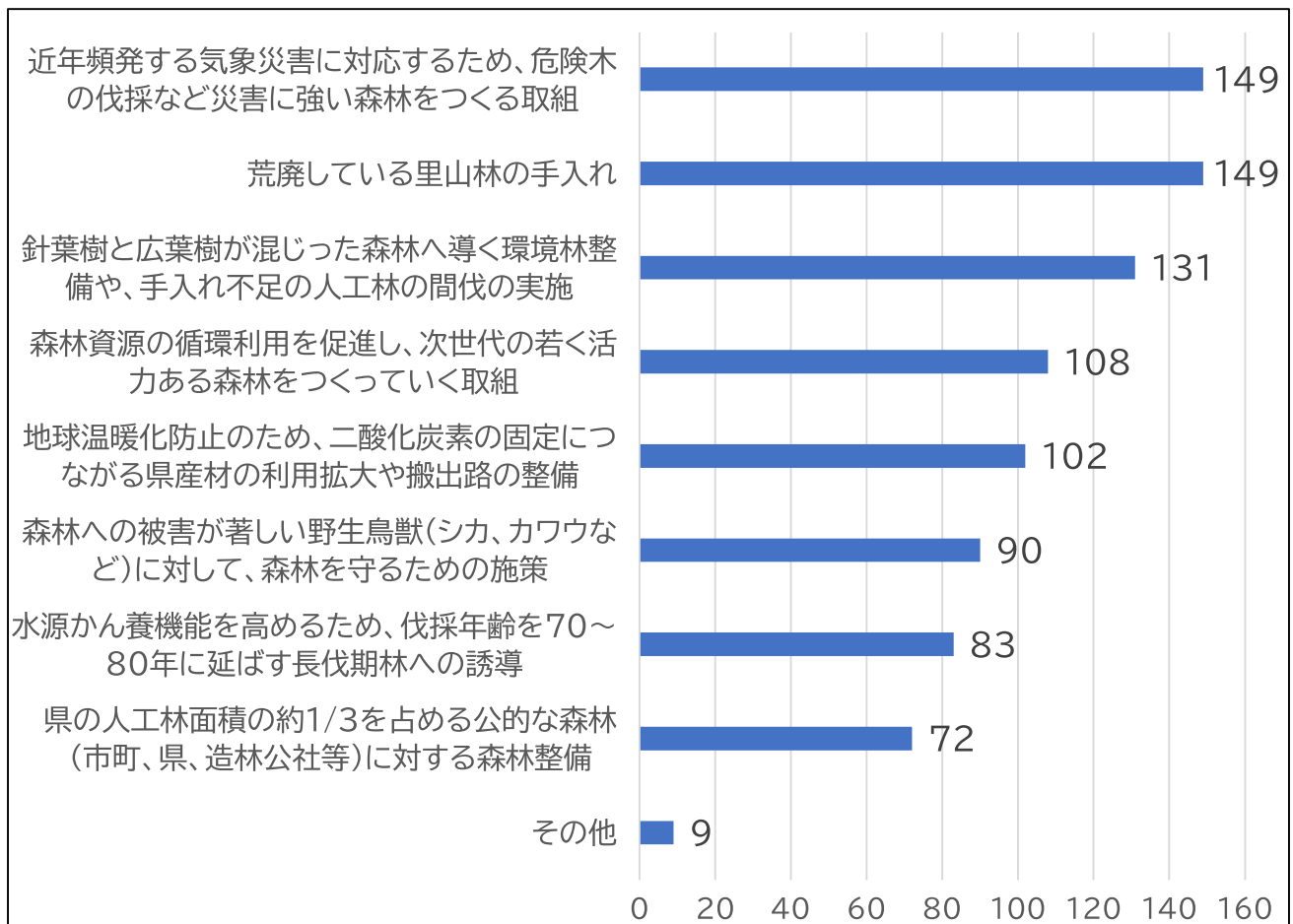
項目	人数(人)	割合(%)
500円以下	47	26.7%
800円程度	10	5.7%
1,000円程度	79	44.9%
1,500円程度	6	3.4%
2,000円程度	17	9.7%
3,000円以上	17	9.7%
合計	176	100.1%



問8 「琵琶湖森林づくり県民税」の使い道のうち、「環境を重視した森林づくり」において、特にどのような分野に充てるのが望ましいと思いますか。(回答チェックはいくつでも n=262)

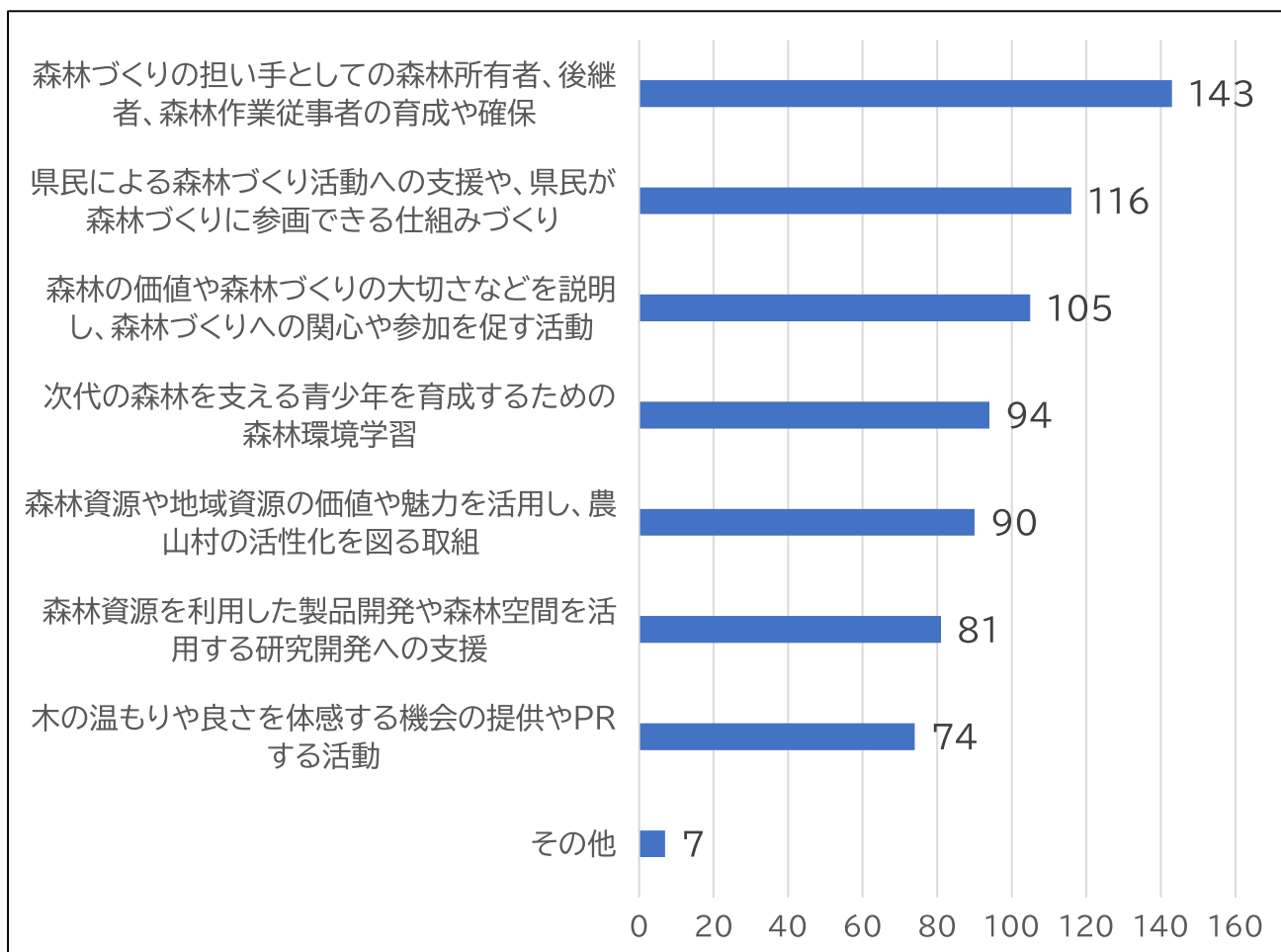
※水源かん養機能…森林の土壌が水を徐々に地中深くに浸透・貯留することにより、時間をかけて河川へ送り出し、洪水の緩和や流量の安定化が図られるとともに水質を浄化する機能

項目	人数(人)	割合(%)
近年頻発する気象災害に対応するため、危険木の伐採など災害に強い森林をつくる取組	149	56.9%
荒廃している里山林の手入れ	149	56.9%
針葉樹と広葉樹が混じった森林へ導く環境林整備や、手入れ不足の人工林の間伐の実施	131	50.0%
森林資源の循環利用を促進し、次世代の若く活力ある森林をつくっていく取組	108	41.2%
地球温暖化防止のため、二酸化炭素の固定につながる県産材の利用拡大や搬出路の整備	102	38.9%
森林への被害が著しい野生鳥獣(シカ、カワウなど)に対して、森林を守るための施策	90	34.4%
水源かん養機能を高めるため、伐採年齢を70～80年に延ばす長伐期林への誘導	83	31.7%
県の人工林面積の約1/3を占める公的な森林(市町、県、造林公社等)に対する森林整備	72	27.5%
その他	9	3.4%



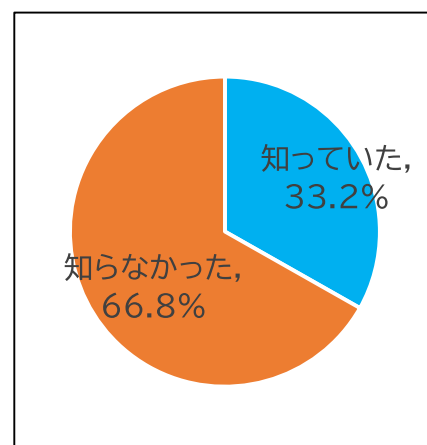
問9 「琵琶湖森林づくり県民税」の使い道のうち、「県民協働による森林づくり」において、特にどの様な分野に充てるのが望ましいと思いますか。(回答チェックはいくつでも n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
森林づくりの担い手としての森林所有者、後継者、森林作業従事者の育成や確保	143	54.6%
県民による森林づくり活動への支援や、県民が森林づくりに参画できる仕組みづくり	116	44.3%
森林の価値や森林づくりの大切さなどを説明し、森林づくりへの関心や参加を促す活動	105	40.1%
次代の森林を支える青少年を育成するための森林環境学習	94	35.9%
森林資源や地域資源の価値や魅力を活用し、農山村の活性化を図る取組	90	34.4%
森林資源を利用した製品開発や森林空間を活用する研究開発への支援	81	30.9%
木の温もりや良さを体感する機会の提供やPRする活動	74	28.2%
その他	7	2.7%



問10 あなたは、「やまの健康」という言葉を知っていましたか。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
知っていた	87	33.2%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	175	66.8%
合計	262	100.0%



問11 「やま」に関わる以下の項目について、最近1年間に体験または実施されたものを選択してください。

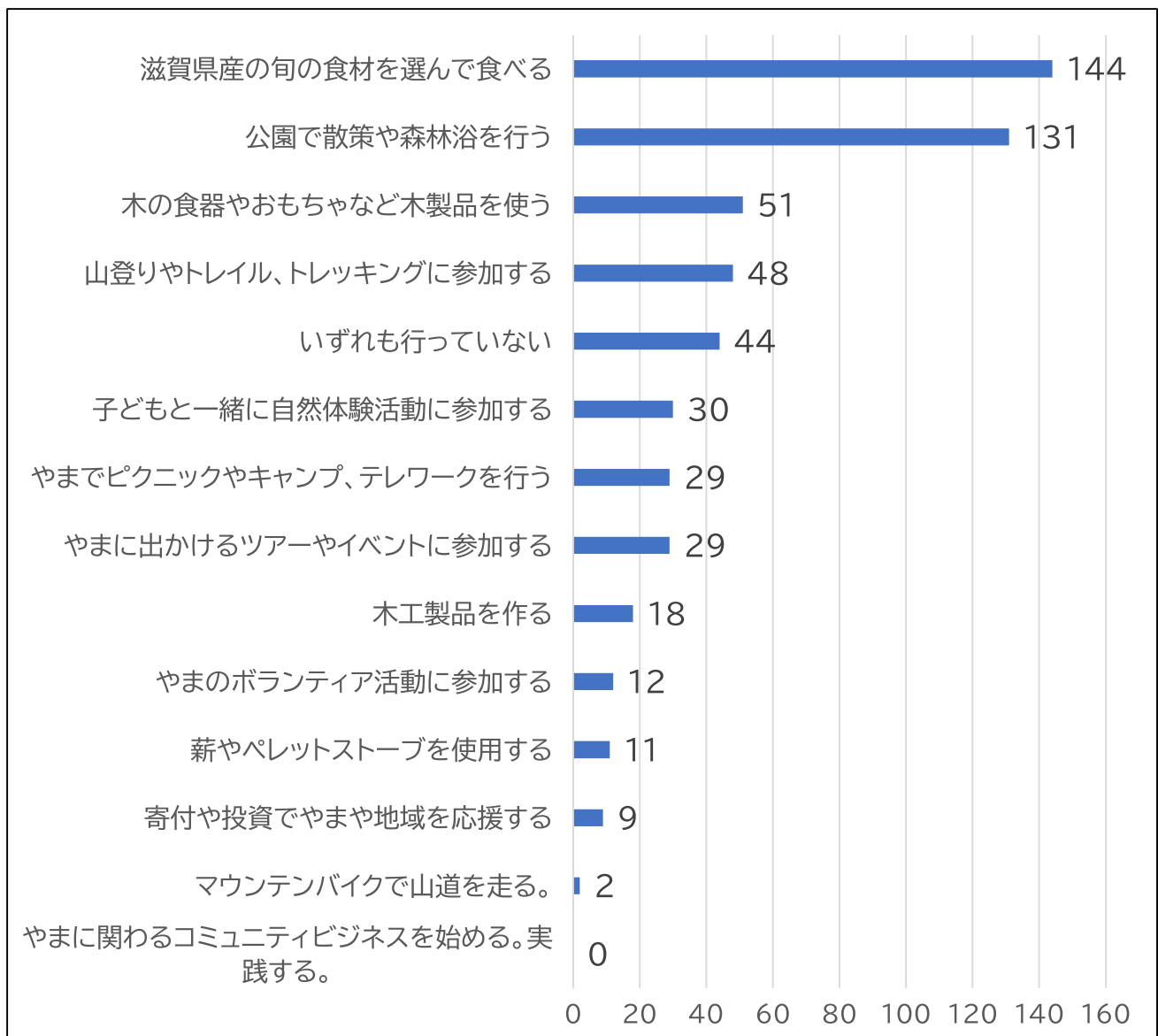
(回答チェックはいくつでも n=262)

※トレイル…森林などの自然にある舗装されていない道を歩くこと

※トレッキング…山の頂上を目指すことを目的とせず山を歩くこと

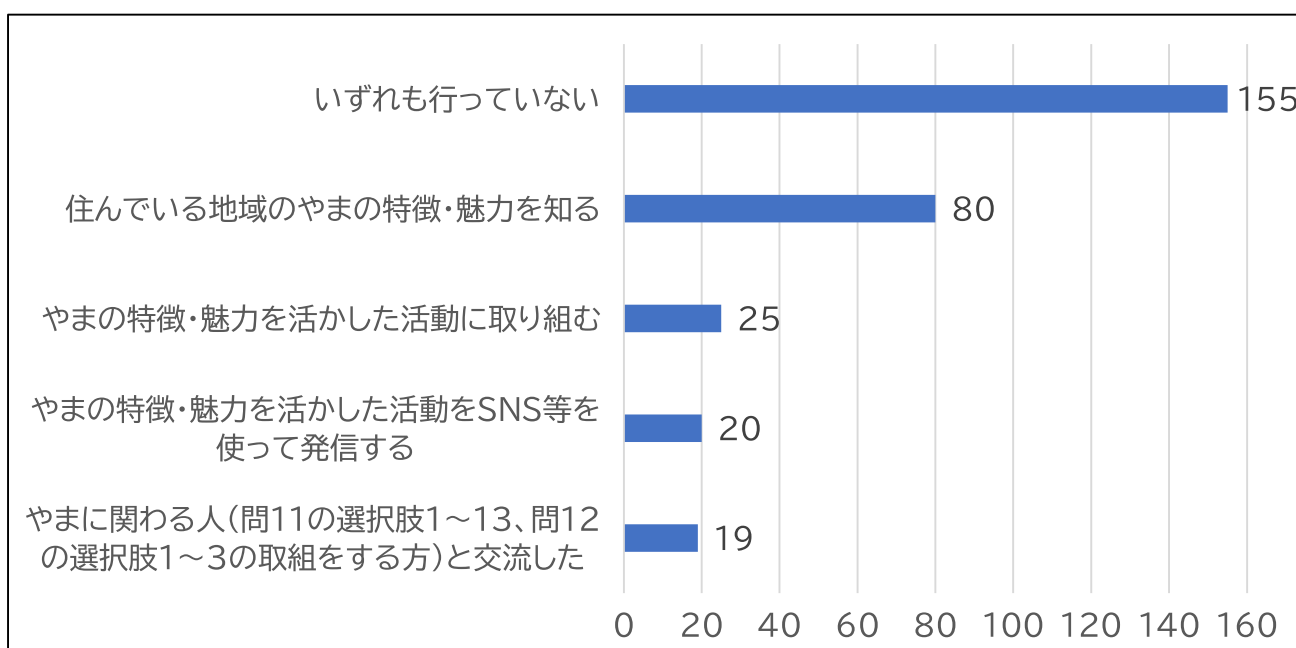
※ペレット…木材加工時に発生するおが粉などを圧縮形成した燃料のこと

項目	人数(人)	割合(%)
滋賀県産の旬の食材を選んで食べる	144	55.0%
公園で散策や森林浴を行う	131	50.0%
木の食器やおもちゃなど木製品を使う	51	19.5%
山登りやトレイル(※)、トレッキング(※)に参加する	48	18.3%
いずれも行っていない	44	16.8%
子どもと一緒に自然体験活動に参加する	30	11.5%
やまでピクニックやキャンプ、テレワークを行う	29	11.1%
やまに出かけるツアーやイベントに参加する	29	11.1%
木工製品を作る	18	6.9%
やまのボランティア活動に参加する	12	4.6%
薪やペレット(※)ストーブを使用する	11	4.2%
寄付や投資でやまや地域を応援する	9	3.4%
マウンテンバイクで山道を走る	2	0.8%
やまに関わるコミュニティビジネスを始める実践する	0	0.0%



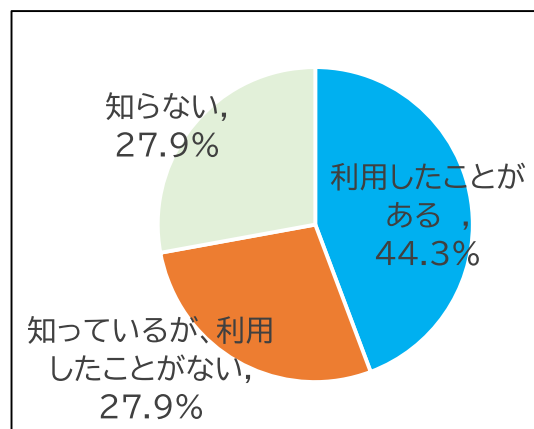
問12 「やま」で取り組む以下の項目について、最近1年間に体験または実施されたものを選択してください。
(回答チェックはいくつでも n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
いずれも行っていない	155	59.2%
住んでいる地域のやまの特徴・魅力を知る	80	30.5%
やまの特徴・魅力を活かした活動に取り組む	25	9.5%
やまの特徴・魅力を活かした活動を SNS 等を使って発信する	20	7.6%
やまに関わる人(問 11 の選択肢 1~13、問 12 の選択肢 1~3 の取組をする方)と交流した	19	7.3%



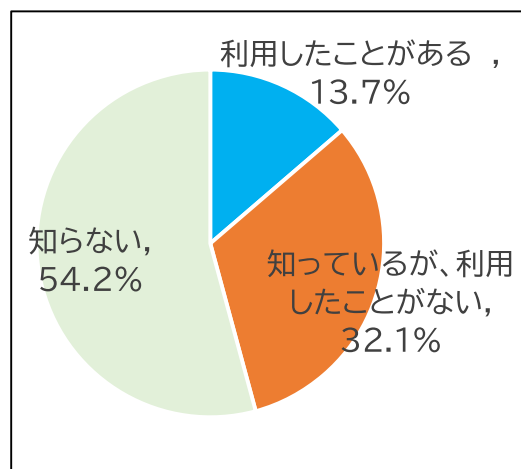
問13-1 県では、県民の皆さんの保健休養やレクリエーションの場として県立森林公園を管理しています。県立森林公園のうち、「近江富士花緑公園(野洲市)」について、当てはまるものを選択してください。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したことがある	116	44.3%
知っているが、利用したことがない	73	27.9%
知らない	73	27.9%
合計	262	100.1%



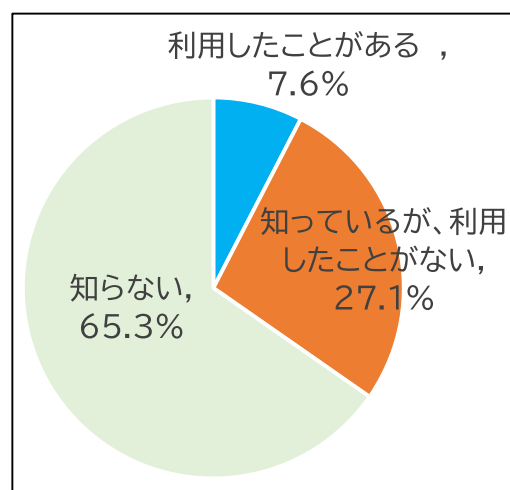
問13-2 県立森林公園のうち、「滋賀日産リーフの森[県民の森](栗東市)」について、当てはまるものを選択してください。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したことがある	36	13.7%
知っているが、利用したことがない	84	32.1%
知らない	142	54.2%
合計	262	100.0%



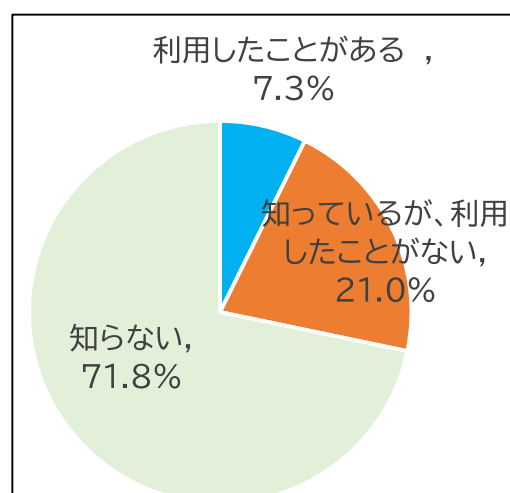
問13-3 県立森林公園のうち、「奥びわ湖・山門水源の森[山門水源の森](長浜市)」について、当てはまるものを選択してください。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したことがある	20	7.6%
知っているが、利用したことがない	71	27.1%
知らない	171	65.3%
合計	262	100.0%



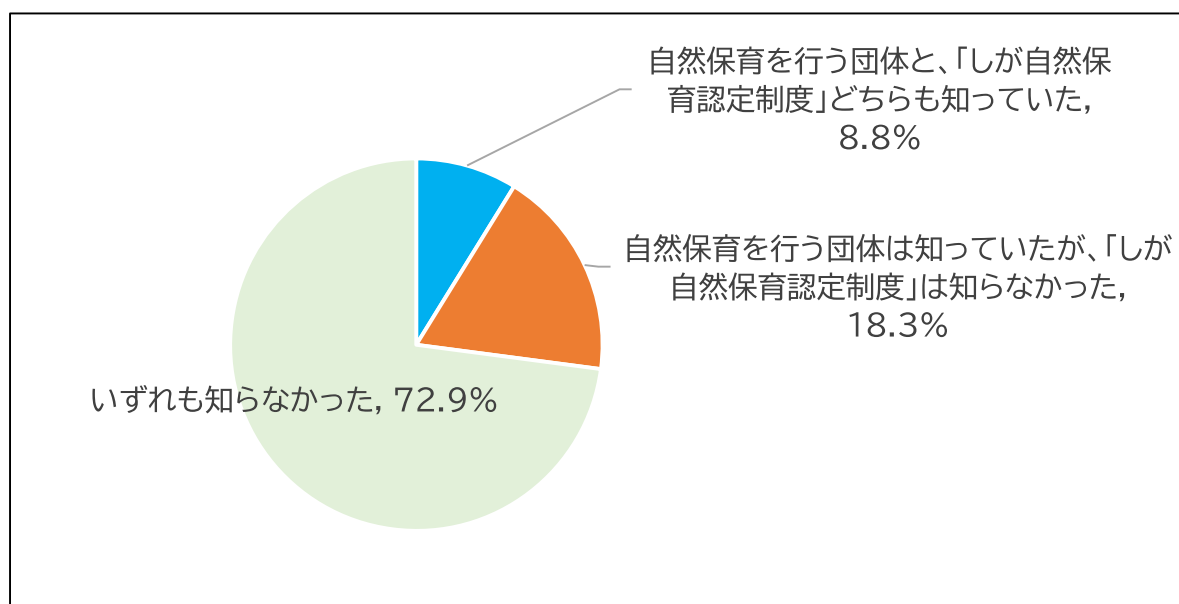
問13-4 県立森林公園のうち、「きゃんせの森(米原市)」について、当てはまるものを選択してください。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したことがある	19	7.3%
知っているが、利用したことがない	55	21.0%
知らない	188	71.8%
合計	262	100.1%



問14 県では、子どもたちの豊かな人間性を育むことなどを旨とした自然保育を行う団体(森のようちえん等)を支援しており、令和2年度には、この団体を認定する「しが自然保育認定制度」を創設しました。県内で実施している自然保育について、当てはまるものを選択してください。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数 (人)	割合(%)
自然保育を行う団体と、「しが自然保育認定制度」どちらも知っていた	23	8.8%
自然保育を行う団体は知っていたが、「しが自然保育認定制度」は知らなかった	48	18.3%
いずれも知らなかった	191	72.9%
合計	262	100.0%



問15 県では、次代を担う子どもたちが森林への理解と関心を深めるとともに人と豊かにかかわる力を育むため、学校教育の一環として、すべての小学4年生を対象に森林環境学習「やまのこ」事業を実施しています。「やまのこ」について、当てはまるものを選択してください。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
「やまのこ」を知っており、小学校で「やまのこ」を体験した	28	10.7%
「やまのこ」を知っているが、「やまのこ」を体験していない	99	37.8%
「やまのこ」を知らなかった	135	51.5%
合計	262	100.0%

